

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	01
事業名	家庭教育推進事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(2)	一人ひとりが尊重される社会・地域ぐるみの子育て環境の実現
目的	将来を担う子どもたちの健全育成のため、学校・家庭・地域が連携し、すべての教育の基である家庭教育を充実・発展させること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座 ※小学生以上を対象にした講座や親子を対象にした自然体験教室等を開催する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・親子ふれあいファミリーフェスタ ※ふれあいまつりで小、中学校PTAと協働契約により開催する。
現在における経過又は課題	講座や体験教室に同じ受講者が参加するなど、新たな参加者が増加していかない。他の部局と同様の事業があるなど事業が重複している傾向がみられる。		
平成26年度の目標又は改善策	事業が重複しないよう、他の部局と連携を密にするようにする。アンケート調査等で得た情報を基に、更に住民ニーズを吟味し、事業の展開を図る。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（5月～8月）
7	日間賀島親子自然体験教室開催及びアンケート調査
10	後期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（11月～2月）

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H24 計画	H24 実績	H25 計画	H26 目標	H27 目標	H28 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H27 年度	・ ・
H28 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H25 年度当初予算額	H26 年度計画額
事業費		千円	1,135	1,277	1,235
(内特定財源)		千円	337	325	365
人工	職員	人工	0.4	0.4	0.4
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	0.6	0.6	0.6

■平成 26 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
家庭教育講座受講料	40	
家庭教育活動参加者負担金	325	
合計	365	

■平成 26 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

なし

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・講座や教室に参加する方が固定化する傾向がある(特に親子を対象とした講座)ため、多くの方々に参加していただけるよう周知方法や内容について検討した。
- ・他の部局・団体と同様な行事があるなど重複している内容について再確認をした。
- ・講座や教室終了時にはアンケート調査を行った。

■ 評価

- ・講座や教室については、参加者から概ねよい評価をいただいている。
- ・以前は母子での参加が多くみられた親子自然教室や日間賀島親子自然体験教室では、父親の積極的な参加がみられ、母親を含めた家族でのより良い家庭教育ができた。
- ・他の部局・団体と協働・連携をとりながら事業を進めたが、まだ、重複する事業が見られるので今後の課題としたい。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	02
事業名	生涯学習活動推進事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	人々が自らの意思で、生涯学習活動を進めることにより、大口町生涯学習基本構想に基づく「生涯学習のまちづくり」を目指すこと。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興（芸能文化事業） ・学校支援地域本部事業 ・文化協会支援 ・成人の集い実行委員会支援 ・リフレッシュリゾート施設利用助成 ・生涯学習のまちづくり事業委託 		
現在における 経過又は課題	<p>大口町文化協会は、会員の高齢化が進んでいるが、協会の独り立ちが期待されている。学校支援地域本部事業のより一層の定着と継続性の拡大。</p> <p>リフレッシュリゾート助成事業の内容や運用制度の再検証</p>		
平成 26 年度 の目標又は 改善策	<p>文化協会の独り立ちの為にに向けた取り組みとして、24年度途中より一部の事務を大口町NPO登録団体に委託している。今年度は、委託内容をさらに拡大し協会を独立した組織へと進める。</p> <p>学校支援地域本部事業の継続性の追求とさらなる事業のPRを実施。</p> <p>事業の実施内容の充実及び運用制度の再検証と検討を実施。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	大口町文化協会補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月）
6	生涯学習のまちづくり事業委託契約 町NPO団体と協働委託契約を締結 芸能文化事業の展開（6月～2月） ・ほほえみコンサート、なんでもマラソンコンサート、おおぐち合唱祭、ダンス&ミュージック
7	大人の集い実行委員会立ち上げ 事業の展開（8月～1月）
1	大人の集い開催 リフレッシュリゾート施設利用申請受付、利用券交付（4月～3月）

□3年間の目標

目標						
	・	・				
項目（単位）	H24 計画	H24 実績	H25 計画	H26 目標	H27 目標	H28 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H27 年度	・ ・
H28 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H25 年度当初予算額	H26 年度計画額
事業費		千円	16,428	17,108	18,370
(内特定財源)		千円	648	429	106
人工	職員	人工	0.6	0.6	0.6
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	0.8	0.8	0.8

■平成 26 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
特別教室開放施設使用料	106	
合計	106	

■平成 26 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

なし

■目標又は改善策に対する取組内容

- ・文化協会業務の一部は25年度にまちづくり団体へ委託し、委託内容等の変更などはしたが、協会独立を考える前に協会の増加をすすめる必要があり、中央公民館のリニューアルに伴い協会をPRできるスペースを確保し、PRできるようにした。
- ・学校支援地域本部事業については、一定の広がりを見せつつあるが、事業拡大のため努力した。また、ボランティアの募集や活動などホームページを活用しPRした。
- ・リフレッシュ・リゾート施設利用助成制度については、大口町に縁のあるところを平成27年度から追加するよう検討し、助成金額を改め拡大した。

■評価

- ・文化協会の独立について検討したが協会の高齢化もあり独立は現在のところ難しいが、今後更なる検討が必要である。
- ・学校支援地域本部事業については、多くの参加者からこの活動が自らの生きがいづくりの場として活用されているとの声が寄せられ、この事業の大きな成果となっている。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	3
事業名	生涯学習講座事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	町民一人ひとりが、変化の多い社会の中で「明るく、楽しく、豊かに」生きることを願い、様々な分野の各種講座を開設しながら、個々の教養や技術を習得すること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定期講座 ※前期、後期に分け、主に教養を深めることや趣味の拡大を目的に1講座6回程度開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・旬の講座 ※その季節にあわせて1講座1回から3回程度開催する。	
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が求める講座や教室は、多種多様になってきており、講座や教室の内容の選定に苦慮している。多くの参加を見込める講座等を企画する必要がある。他の部局と同様の事業があるなど事業が重複している傾向がみられる。 		
平成26年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査で得た情報を基に、更に住民ニーズを吟味し、新たな講座等を企画していく。事業が重複しないよう、他の部局と連携を密にするようにする。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期生涯学習講座の受付及び事業展開（5月～8月）
10	後期生涯学習講座の受付及び事業展開（11月～2月）
	* 事業の展開と共に、新たな講座等を企画していく。

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H24 計画	H24 実績	H25 計画	H26 目標	H27 目標	H28 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H27 年度	.
	.
H28 年度	.
	.

■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H25 年度当初予算額	H26 年度計画額
事業費		千円	1,007	1,629	1,352
(内特定財源)		千円	175	57	72
人工	職員	人工	0.6	0.6	0.6
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	0.8	0.8	0.8

■平成 26 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
社会教育講座受講料	72	
合計	72	

■平成 26 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

なし

■ 目標又は改善策に対する取組内容

今年度は、新たな取り組みとして歌舞伎鑑賞や登山教室等を実施し、参加者からは概ね好評をいただいた。受講者へのアンケート・生涯学習基本構想策定時のアンケート調査や多方面での聞き取り、民間業者により各所で実施されている講座の情報収集、他市町村で実施されている講座の状況や内容、近隣大学で実施されるオープンカレッジ等の内容把握等により多種多様な住民の学習要求に応えられるよう、常に準備に努めている。また、他の部局と同様の事業があるなど事業が重複している内容について、再度確認し、事業の効率的な実施について検討する。

■ 評価

「生涯学習基本構想」の基本的目標キーワードである「学びを創る」「学びに集う」「学びをつなぐ」という考え方により、特に講座については「誰でも、いつでも、気軽に学べる」を基本として、講座内容の選定を行っており、今後の人材育成や生きがいづくりにつながっているものと考えている。また、今後は、住民が求める多種多様な要望も取り入れていけるよう事業展開を検討することも必要である。教育委員会以外の部署や町登録NPO団体等が実施している講座や教室との実施時期や内容の調整については、事務局間の執務上の場所的・時間的な隔たりもあり、連携・調整の進みが遅れている。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	4
事業名	中央公民館管理事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、教養や技術を習得すると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の利用者対応 ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認		<ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 ・ 除草等清掃作業
現在における 経過又は課題	<p>開館からすでに30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在している。</p> <p>平成7年度に実施した耐震診断において「疑問あり」と診断されていることについて、耐震補強工事等を実施し、耐震化を図らなければならないと考えている。平成24年度に耐震診断及び基本設計を作成。平成25年度に耐震補強改修工事の実施設計書を作成した。</p>		
平成26年度の 目標又は 改善策	耐震補強改修工事を実施する。また、耐震補強改修工事以外の施設修繕については、積極的に行い改修が必要な個所については、できるだけ対応していく。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。
6	耐震補強工事設計監理委託契約の締結 耐震補強工事の入札及び契約の締結
H27 3	耐震補強工事完了 * 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H24 計画	H24 実績	H25 計画	H26 目標	H27 目標	H28 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H27 年度	.
H28 年度	.

■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H25 年度当初予算額	H26 年度計画額
事業費		千円	58,784	69,763	719,820
(内特定財源)		千円	3,563	5,691	581,009
人工	職員	人工	0.9	0.7	0.7
	臨時職員	人工	0.3	0.2	0.2
	計	人工	1.2	0.9	0.9

■平成 26 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	74	
中央公民館使用料	1,565	
施設利用負担金	420	
社会資本整備総合交付金	106,110	
住宅・建築物安全ストック形成	42,840	
明日のまちづくり基金繰入金	330,000	
中央公民館耐震補強改修事業債	100,000	
合計	581,009	

■平成 26 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
中央公民館耐震補強工事設計(13設計監理等委託料)	12,000	△12,000	耐震補強工事実施設計書作成委託
中央公民館耐震補強工事設計(13設計監理等委託料)	5,413	5,413	耐震補強工事監理委託
中央公民館耐震補強工事費(15工事請負費)	660,960	660,960	耐震補強工事

■特記事項

平成25年度において耐震補強改修工事の実設計書を作成し、平成26年度の工事着工、年度内の完了を予定。

■目標又は改善策に対する取組内容

耐震補強改修工事を実施した。実施設計にはなかったが、工事過程で発見されたアスベストについては、適正に処理した。また、細かな改修、修繕についても工事内で対応できるものは対応した。改修工事以外のところは、開館から30年以上が経過し、老朽化は否めないが、修繕で対応可能な部分については、積極的に対応した。

■評価

8月より全施設（1階老人福祉センター、3階図書館を含む）を休館し、中央公民館耐震補強改修工事を実施した。工事内容は、中央公民館の耐震補強と改修部分では、施設照明の大半をLED化し、全館空調を個別化やトイレの洋式化などを実施した。また、耐震貯水槽や防災倉庫、マンホールトイレを新設し、今後、町の中央避難所として活用できるよう施設整備を行った。平成27年度には太陽光発電設備の設置を予定している。また、施設自体が開館から30年以上が経過しているため、施設備品や調理室などの備付備品など今後取替や改修が必要となってくる。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	5
事業名	町民会館管理事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、教養や技術を習得すると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の利用者対応 ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認		<ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 ・ 除草等清掃作業
現在における 経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開館からすでに20年以上経過しており、施設が老朽化してきた。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分もいくつか存在しはじめている。 		
平成26年度の 目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応していく。 ・ 館内の男子トイレの一部洋式化をはかり、よりバリアフリーな施設を目指す。 ・ かねてから利用者から多々要望のあった、舞台上で使用する反響板を購入し、音響効果向上を図る。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。
6	トイレ改修工事の工事入札及び契約 トイレ改修工事の実施
8	反響板購入の入札及び契約 反響板納入
* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。	

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H24 計画	H24 実績	H25 計画	H26 目標	H27 目標	H28 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H27 年度	.
H28 年度	.

■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H25 年度当初予算額	H26 年度計画額
事業費		千円	20,071	27,129	24,167
(内特定財源)		千円	2,774	2,859	2,804
人工	職員	人工	0.2	0.3	0.3
	臨時職員	人工	0.0	0.0	0.0
	計	人工	0.2	0.3	0.3

■平成 26 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	1	
町民会館使用料	1,843	
施設利用負担金	960	
合計	2,804	

■平成 26 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
町民会館設備改修工事費(15工事請負費)	7,500	△7,500	2階ホール調光卓の更新工事
町民会館設備改修工事費(15工事請負費)	2,329	2,329	館内男子トイレ一部様式化工事
町民会館設備改修工事費(18備品購入費)	1,307	1,307	舞台用反響板

■特記事項

施設のバリアフリー化として男子トイレの一部洋式化工事を実施する。また、かねてより利用者から要望の多くあった、舞台用の反響板(移動式)を購入し、舞台の音響効果の向上を図る。

■目標又は改善策に対する取組内容

開館からすでに20年以上経過しており、施設が老朽化してきた。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分もいくつか存在しはじめているが、修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応した。

トイレの一部様式化を行いバリアフリー化に努めた。

住民からの要望に応え、反響板の購入を行い音響効果の向上に努めた。

■評価

施設利用者の要望に応え、より便利にお使いいただけるような施設維持ができている。

今後は、開館から20年以上が経過していることもあり、大掛かりな改修工事が必要となってくる。(屋根補修、非構造物耐震工事、空調機など)

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	06
事業名	社会体育振興事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	暮らしの中に「体育」を取り入れるよう、「町民と結びついた社会体育」をスローガンに各種講習会や大会などを開催し、町民にスポーツ参加の機会と普及に努めること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室開催 ・スポーツ大会開催 ・体育協会支援 ・スポーツ少年団支援 		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員事務
現在における 経過又は課題	<p>子供向けの事業については、総合型地域スポーツクラブであるNPO法人ウィル大口スポーツクラブが実施する事業で補完できている。</p> <p>健康のために運動する方は、多くなっているが、スポーツとなるとまだまだ少なく、大人向けのスポーツ教室を実施しているが、なかなか参加者が増えない。</p> <p>団体支援では、自分たちだけの活動が中心のため、多くの人を巻き込める事業を増やしていきたい。</p>		
平成26年度の 目標又は 改善策	<p>子供むけの事業については、現状どおりウィル大口スポーツクラブと協働で事業を進めていく。さらに大人の事業についても同様の取り組みを実施していく。</p> <p>教室では、スポーツ推進委員を中心にターゲットを絞った教室を計画をしていく。また、行政やNPO団体の教室を把握し、連携の取れた教室の実施を進める。</p> <p>団体支援では、自分たちの視点で団体を見直し、自らが中心となる団体として支援する。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	各団体補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月）
9	地区別ソフトボール大会開催
10	町民体育祭開催
12	愛知駅伝参加
3	桜並木健康ジョギング開催 ・スポーツ推進委員会議は毎月1回開催 ・スポーツ教室は年度当初に企画し、夏以降に開催

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H24 計画	H24 実績	H25 計画	H26 目標	H27 目標	H28 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H27 年度	・ ・
H28 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H25 年度当初予算額	H26 年度計画額
事業費		千円	9,615	11,314	10,936
(内特定財源)		千円	402	408	361
人工	職員	人工	0.6	0.6	0.6
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	0.8	0.8	0.8

■平成 26 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
学校開放施設使用料	358	
スポーツ教室受講料	3	
合計	361	

■平成 26 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

なし

■ 目標又は改善策に対する取組内容

健康のために運動する方は、多くなっているが、スポーツとなるとまだまだ少なく、大人向けのスポーツ教室を実施しているが、なかなか参加者が増えない。教室では、今年度新たに登山教室を実施した。また、スポーツ推進委員会を中心にターゲットを絞った体幹教室を計画し実施した。行政やNPO団体の教室を把握し、連携の取れた教室の実施に努めた。

■ 評価

子供むけの事業については、ウィル大口スポーツクラブにより事業が進められており、多くの参加者からも好評価をいただいている。
教室では、スポーツ推進委員会が中心となって教室を計画をし実施しているが、まだまだ住民のニーズがつかみ切れていないのが現状である。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	7
事業名	温水プール管理事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	<p>市民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるような施設の一つとして、一年を通して活用できる温水プールを整備することで市民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者との協定締結 指定管理者と連携を密にとり施設の管理・運営について、確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理の範囲外の工事等について、検討し実施。
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営が指定管理者に委ねられたが、開館からすでに30年近く経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在しており大規模な修繕が必要な箇所も存在している。 施設内のロビー・事務室系統の空調機が故障し停止している。施設内のロビー・事務室系統の空調機の更新及びそれに合わせて空調機の個別化を実施しエネルギーの効率化を図る。プール室内空調ダクトが劣化し破断や落下が心配される。抜本的な対策が必要。 		
平成26年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、適切な対応がとられているか慎重に見守っていく。 施設については、大規模な改修が必要な箇所について把握し、今後の改修に向けて準備を進めていく。 施設内ロビー・事務室系統の空調機更新改修工事を実施し、プールの延命及びエネルギーの効率化を図る。 プール室内空調ダクトの改修工事を実施する。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	指定管理年度協定締結 年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の動向を慎重に見守っていく。 大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。 ロビー・事務室系統空調機更新改修工事入札・契約 ロビー・事務室系統空調機更新改修工事
9	プール槽塗り替え工事及び空調ダクト改修工事入札・契約
10	プール槽塗り替え工事及び空調ダクト改修工事

□3年間の目標

目標	・ ・						
	項目（単位）	H24 計画	H24 実績	H25 計画	H26 目標	H27 目標	H28 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H27 年度	・ ・
H28 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H25 年度当初予算額	H26 年度計画額
事業費		千円	50,436	46,180	65,819
(内特定財源)		千円	161	148	148
人工	職員	人工	0.3	0.3	0.3
	臨時職員	人工	0.0	0.0	0.0
	計	人工	0.3	0.3	0.3

■平成 26 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	148	
合計	148	

■平成 26 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
温水プール設備改修工事 (15工事請負費)	8,400	△8,400	排水管工事・パイプシャフト内配管及び電気配線改修工事
温水プールロビー事務室系統空調改修工事費	21,697	21,697	プール施設ロビー・事務室系統空調更新改修工事
温水プール空調ダクト改修工事 (15工事請負費)	5,141	5,141	温水プール内空調ダクト改修工事
		18,438	

■特記事項

プール施設内のロビー・事務室系統の空調機の更新と個別化のための改修工事を実施する。また、プール室内空調ダクトの破断及び落下防止のための取替改修工事を実施する。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

施設の管理運営が指定管理者に委ねられたが、開館からすでに30年近く経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在しているが、修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応した。

今年度は、施設内ロビー・事務室系統の空調機更新改修工事を実施し、プールの延命及びエネルギーの効率化を図った。またプール室内空調ダクトの改修工事を実施した。

■ 評価

・施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、指定管理者と打ち合わせをしながら適切な対応がとられているか慎重に見守っていく。

・指定管理を導入して5年が経過し、指定管理外部評価委員会において概ね良好であると評価いただいた。

・施設については、大規模な改修が必要な個所について把握し、今後の改修に向けて準備を進めていく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No. 8		
事業名	グラウンド等管理事業				
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む		
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進		
目的	<p>町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるよう、また、多種多様なスポーツ種目の要望に応えられるように施設を整備し、町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。</p>				
事務内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理以外の設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認・支払処理 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消耗品等の補充 ・ 除草等清掃作業 </td> </tr> </table>			<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理以外の設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認・支払処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消耗品等の補充 ・ 除草等清掃作業
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理以外の設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認・支払処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消耗品等の補充 ・ 除草等清掃作業 				
現在における 経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者制度を導入している施設と町が直接管理・運営している施設があるが、いずれの管理方法においても一長一短があり、今後の施設管理の在り方を検討する必要がある。 ・ 費用等の問題もあるが、全ての施設がより適正に管理・運営されるような施設管理の方法を検討していく。 				
平成 26 年度 の目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理運営が指定管理者に委ねられている施設については、指定管理者とともに適切な管理に努める。 ・ 町が直接管理・運営している施設については、職員自らが施設の維持管理作業も行っているが、利用者の要望に応えられるよう業者委託も活用しつつ、適正に管理・運営していく。 ・ いずれの施設についてもより経費を抑えつつ、適正な管理ができるような方法の検討を続ける。 				

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	指定管理者制度導入施設の年度協定締結 屋内運動場等の年間保守点検業務等の契約締結
7	総合運動場メインスタンド雨漏り修繕工事入札・契約
8	総合運動場メインスタンド雨漏り修繕工事
	年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の動向を慎重に見守っていく。 大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H24 計画	H24 実績	H25 計画	H26 目標	H27 目標	H28 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H27 年度	.
	.
H28 年度	.
	.

■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H25 年度当初予算額	H26 年度計画額
事業費		千円	51,246	51,314	53,181
(内特定財源)		千円	2,526	2,375	2,607
人工	職員	人工	0.4	0.3	0.3
	臨時職員	人工	0.0	0.0	0.0
	計	人工	0.4	0.3	0.3

■平成 26 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	527	
スポーツ施設使用料(グラウンド)	677	
スポーツ施設使用料(屋内運動場)	803	
特別養護老人ホーム負担金	600	
合計	2,607	

■平成 26 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
グラウンド施設改修工事費(15工事請負費)	1,641	△1,641	総合運動場周回側溝浚渫工事。管理棟内エアコン更新工事
グラウンド施設改修工事費(15工事請負費)	5,329	5,329	総合運動場メインスタンド雨漏り修繕工事

■特記事項

総合運動場のメインスタンド下の倉庫に雨漏りが多く生じているので、雨漏り修繕工事を実施する。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

指定管理者制度を導入している施設と町が直接管理・運営している施設があるが、グラウンド等の体育施設においては、指定管理者制度を積極的に導入することとした。(平成27年度より)

総合運動場のメインスタンド防水工事を実施した。

■ 評価

施設の管理運営については、指定管理者が実施しており、平成26年度の評価においても概ね適正な管理運営であるとの評価を得た。

指定管理者が管理運営している施設においては、積極的な修繕等により利用者が安心・安全に利用できるよう努力されているものと考えている。町が直接管理・運営している施設については、比較的新しい施設であるため、職員自らが施設の維持管理作業も行いつつ、専門的な知識や技術が必要な施設については、より適正な管理委託により利用者の要望に応えられるよう管理運営を行っている。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	09		
事業名	野外活動施設管理事業				
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む		
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進		
目的	<p>町民が自然にふれあいながら規律、協調、友愛の精神を養い、心身ともに健全に、また、より豊かな心を養うことを目的とし、安心して利用できる施設管理を目的とする。</p>				
事務内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 </td> </tr> </table>			<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 				
現在における 経過又は課題	<p>平成19年度から、地元住民の有志グループに日常管理を委託してきたが、大きなトラブル等もなく現在も同じグループに日常管理を委託している。</p> <p>開場からすでに30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在している。</p> <p>アスレチック施設については、木製であるので経年劣化が大きく、今後の施設の維持管理方針について引き続き検討していく。</p> <p>キャンプ場の必要性について引き続き検討していく。</p>				
平成26年度の 目標又は 改善策	<p>施設の老朽化に対応するため、可能な限り早期の修繕を実施している。また、地元地域からの要望等にも早期の対応に心がけている。</p> <p>施設そのもの、特にキャンプ場の存在意義についても今後の検討課題としているが、施設利用者や地元地域の意見も踏まえつつ、施設の管理・運営をより良い方向に進めていく。</p>				

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。</p> <p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H24 計画	H24 実績	H25 計画	H26 目標	H27 目標	H28 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H27 年度	・ ・
H28 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H24 年度決算額	H25 年度当初予算額	H26 年度計画額
事業費		千円	6,293	4,629	4,857
(内特定財源)		千円	2	1	1
人工	職員	人工	0.2	0.2	0.2
	臨時職員	人工	0.0	0.0	0.0
	計	人工	0.2	0.2	0.2

■平成 26 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
野外活動施設使用料	1	
合計	1	

■平成 26 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

なし

■ 目標又は改善策に対する取組内容

アスレチック施設については、木製であるため経年劣化が激しく、平成26年度中には危険な状態となってしまうであろう木製遊具の修繕を実施した。

■ 評価

施設の老朽化に対応するため、可能な限り早期の修繕を実施している。また、地元地域からの要望等にも早期の対応に心がけている。

施設そのもの、特にキャンプ場の存在意義についても今後の検討課題としているが、施設利用者や地元地域の意見も踏まえつつ、施設の管理・運営をより良い方向に進めていくものとして、積極的なキャンプ場の利用方法等についても検討中である。